

鳥大医療 第16-1号
平成22年10月1日

厚生労働大臣

殿

鳥取大学医学部附属病院
病院長 豊島良

鳥取大学医学部附属病院の業務に関する報告について

標記について、医療法（昭和23年法律第205号）第12条の3の規定に基づき、平成21年度の業務について報告します。

記

- 1 高度の医療の提供の実績 → 別紙参照（様式第10）
- 2 高度の医療技術の開発及び評価の実績 → 別紙参照（様式第11）
- 3 高度の医療に関する研修の実績

研修医の人数	33人
--------	-----

(注) 前年度の研修医の実数を記入すること。

- 4 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の体系的な管理方法
→ 別紙参照（様式第12）

- 5 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び閲覧の実績

- 6 他の病院又は診療所から紹介された患者に対する医療提供の実績
→ 別紙参照（様式第13）

- 7 医師、歯科医師、薬剤師、看護師及び准看護師、管理栄養士その他の従業者の員数

職種	常勤	非常勤	合計	職種	員数	職種	員数
医師	296人	71人	349.8人	看護補助者	73人	診療エックス線技師	0人
歯科医師	14人	3人	15.8人	理学療法士	13人	麻酔臨床検査技師	40人
薬剤師	30人	0人	30.0人	作業療法士	5人	衛生検査技師	0人
保健師	0人	0人	0.0人	視能訓練士	3人	検査その他の	0人
助産師	36人	0人	36.0人	義肢装具士	0人	あん摩マッサージ指圧師	0人
看護師	554人	25人	572.7人	臨床工学技士	8人	医療社会事業従事者	9人
准看護師	1人	0人	1.0人	栄養士	0人	その他の技術員	18人
歯科衛生士	3人	0人	3.0人	歯科技工士	2人	事務職員	172人
管理栄養士	5人	0人	5.0人	診療放射線技師	33人	その他の職員	17人

(注) 1 報告を行う当該年度の10月1日現在の員数を記入すること。

2 栄養士の員数には、管理栄養士の員数は含めないで記入すること。

3 「合計」欄には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下2位を切り捨て、小数点以下1位まで算出して記入すること。それ以外の欄には、それぞれの員数の単純合計員数を記入すること。

- 8 入院患者、外来患者及び調剤の数

歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科の入院患者及び外来患者の数

	歯科等以外	歯科等	合計
1日当たり平均入院患者数	552.8人	12.1人	564.9人
1日当たり平均外来患者数	1,223.0人	67.0人	1,290.0人
1日当たり平均調剤数		832.3剤	

(注) 1 「歯科等」欄には、歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科を受診した患者数を、「歯科等以外」欄にはそれ以外の診療科を受診した患者数を記入すること。

2 入院患者数は、年間の各科別の入院患者延数(毎日の24時現在の在院患者数の合計)を暦日で除した数を記入すること。

3 外来患者数は、年間の各科別の外来患者延数をそれぞれ病院の年間の実外来診療日数で除した数を記入すること。

4 調剤数は、年間の入院及び外来別の調剤延数をそれぞれ暦日及び実外来診療日数で除した数を記入すること。

高度の医療の提供の実績

1 承認を受けている先進医療の種類(注1)及び取扱患者数

先進医療の種類	取扱患者数
筋緊張性ジストロフィー症のDNA診断	0人
超音波骨折療法	0人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人

(注1) 「先進医療の種類」欄には、厚生労働大臣の定める先進医療及び施設基準(平成二十年厚生労働省告示第百二十九号)第二各号に掲げる先進医療について記入すること。

(注2) 「取扱患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

高度の医療の提供の実績

2 承認を受けている先進医療の種類(注1)及び取扱患者数

先進医療の種類	取扱患者数
乳がんにおけるセンチネルリンパ節の同定と転移の検索	51人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人

(注1) 「先進医療の種類」欄には、厚生労働大臣の定める先進医療及び施設基準(平成二十年厚生労働省告示第百二十九号)第三各号に掲げる先進医療について記入すること。

(注2) 「取扱患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

高度の医療の提供の実績

3 その他の高度の医療

医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			

(注) 当該医療機関において高度の医療と判断するものが他にあれば、前年度の実績を記入すること。

高度の医療の提供の実績

4 特定疾患治療研究事業対象疾患についての診療

疾 患 名	取扱患者数	疾 患 名	取扱患者数
・ベーチェット病	26 人	・膿疱性乾癥	0 人
・多発性硬化症	31 人	・広範脊柱管狭窄症	5 人
・重症筋無力症	64 人	・原発性胆汁性肝硬変	35 人
・全身性エリテマトーデス	115 人	・重症急性胰炎	5 人
・スモン	2 人	・特発性大腿骨頭壊死症	13 人
・再生不良性貧血	16 人	・混合性結合組織病	26 人
・サルコイドーシス	57 人	・原発性免疫不全症候群	3 人
・筋萎縮性側索硬化症	17 人	・特発性間質性肺炎	26 人
・強皮症、皮膚筋炎及び多発性筋炎	106 人	・網膜色素変性症	11 人
・特発性血小板減少性紫斑病	28 人	・プリオント病	1 人
・結節性動脈周囲炎	18 人	・肺動脈性肺高血圧症	3 人
・潰瘍性大腸炎	48 人	・神経線維腫症	18 人
・大動脈炎症候群	14 人	・亜急性硬化性全脳炎	0 人
・ビュルガー病	11 人	・バッド・キアリ(Budd-Chiari)症候群	4 人
・天疱瘡	11 人	・慢性血栓塞栓性肺高血圧症	7 人
・脊髄小脳変性症	25 人	・ライソゾーム病	2 人
・クローン病	19 人	・副腎白質ジストロフィー	3 人
・難治性の肝炎のうち劇症肝炎	1 人	・家族性高コレステロール血症(ホモ接合体)	0 人
・悪性関節リウマチ	3 人	・脊髄性筋委縮症	1 人
・パーキンソン病関連疾患(進行性核上性麻痺、 大脳皮質基底核変性症及びパーキンソン病)	188 人	・球脊髄性筋委縮症	4 人
		・慢性炎症性脱髓性多発神経炎	4 人
・アミロイドーシス	6 人	・肥大型心筋症	1 人
・後縦靭帯骨化症	56 人	・拘束型心筋症	0 人
・ハンチントン病	3 人	・ミトコンドリア病	0 人
・モヤモヤ病(ウィリス動脈輪閉塞症)	19 人	・リンパ脈管筋腫症(LAM)	0 人
・ウェゲナー肉芽腫症	10 人	・重症多形滲出性紅斑(急性期)	0 人
・特発性拡張型(うつ血型)心筋症	55 人	・黄色靭帯骨化症	0 人
・多系統萎縮症(線条体黒質変性症、オリーブ橋 小脳萎縮症及びシャイ・ドレーガー症候群)	18 人	・間脳下垂体機能障害 (PRL分泌異常症、ゴナドトロピン分泌異常症、ADH分泌異常症、下垂体性TSH分泌異常症、クッシング病、先端巨大症、下垂体機能低下症)	24 人
・表皮水疱症(接合部型及び栄養障害型)	0 人	水俣病	1 人
		先天性血液凝固因子障害	7 人

(注) 「取扱患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

高度の医療の提供の実績

5 健康保険法の規定による療養に要する費用の額の算定方法に先進医療から採り入れられた医療技術

施設基準等の種類	施設基準等の種類
・該当ありません	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・

(注)「施設基準等の種類」欄には、業務報告を行う3年前の4月以降に、健康保険法の規定による療養に要する費用の額の算定方法(平成六年厚生省告示第五十四号)に先進医療(当該病院において提供していたものに限る。)から採り入れられた医療技術について記入すること。

6 病理・臨床検査部門の概要

臨床検査及び病理診断を実施する部門の状況	1. 臨床検査部門と病理診断部門は別々である。 2. 臨床検査部門と病理診断部門は同一部門にまとめられている。
臨床部門が病理診断部門或いは臨床検査部門と開催した症例検討会の開催頻度	月1回程度
部検の状況	部検症例数 24例 / 部検率 4.4%

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1. 研究費補助金等の実績(平成21年度)

	研究課題名	研究者名		金額(千円)	補助元又委託先
1	ゴーシュ病モデルマウスを用いたケミカルシャペロン療法の開発に関する研究	大野 耕策	脳神経小児科	3,900	日本学術振興会 科学研究費補助金
2	過活動膀胱は予防可能か?	斎藤 源頤	分子薬理学	1,100	日本学術振興会 科学研究費補助金
3	腹臥位換気法の長期連続施行における適用限界の有無について	岡崎直人	麻酔・集中治療医学	800	日本学術振興会 科学研究費補助金
4	虚弱高齢者における脆弱性骨折発生原因の解明と予防法の開発	萩野 浩	基礎看護学	600	日本学術振興会 科学研究費補助金
5	小児期発症メタボリック症候群の成因分析:遺伝性肥満をモデルとして	花木 啓一	母性・小児家族看護学	1,100	日本学術振興会 科学研究費補助金
6	地域における軽症パーキンソン病患者の早期診断に関する検討	中島 健二	脳神経内科	700	日本学術振興会 科学研究費補助金
7	C型慢性肝疾患での肝発癌と細胞外マトリックス分解系の遺伝子多型との関連	村脇 義和	機能病態内科学	700	日本学術振興会 科学研究費補助金
8	統合失調症に対する認知矯正療法の治療研究	中込 和幸	精神行動医学	500	日本学術振興会 科学研究費補助金
9	神経メラニン細胞密度とMRIの信号強度の相関:剖検脳と3TMRIによる検討	小川 敏英	医用放射線学	1,000	日本学術振興会 科学研究費補助金
10	進行食道癌における放射線化学療法効果増強システムの開発	池口 正英	病態制御外科学	1,400	日本学術振興会 科学研究費補助金
11	軟骨下骨組織の健常化による関節疾患の予防・治療に関する研究	豊島 良太	運動器医学	900	日本学術振興会 科学研究費補助金
12	角膜ヘルペス治療における分子標的の解明	井上 幸次	視覚病態学	900	日本学術振興会 科学研究費補助金
13	睡眠時無呼吸症候群による時計遺伝子障害に関する研究	鰯岡 直人	分子制御内科学	1,000	日本学術振興会 科学研究費補助金
14	子宮内膜症の増殖進展機構における細胞死の役割とその治療への応用に関する研究	原田 省	生殖機能医学	1,200	日本学術振興会 科学研究費補助金
15	パーキンソン病におけるp62による蛋白sequestrationとオートファジー	中曾 一裕	脳神経内科	900	日本学術振興会 科学研究費補助金
16	インターロイキン17産生Tリンパ球に着目した消化器癌の免疫および進展機構の解明	齊藤 博昭	病態制御外科学	900	日本学術振興会 科学研究費補助金
17	I G F - I 受容体異常症の解明:新規変異遺伝子の探索と機能解析および表現型の検討	神崎 晋	周産期・小児医学	1,700	日本学術振興会 科学研究費補助金
18	膠芽腫におけるE P 4受容体阻害剤の腫瘍抑制効果の検討	渡辺 高志	脳神経外科部門	1,600	日本学術振興会 科学研究費補助金
19	ビスホスホネートによる顎骨壊死の予測マーカーならびに発症メカニズムに関する検討	領家 和男	口腔顎顔面病態外科学	2,000	日本学術振興会 科学研究費補助金

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1. 研究費補助金等の実績(平成21年度)

	研究課題名	研究者名		金額(千円)	補助元又委託先
20	セツキシマブの肺癌治療における新しいバイオマーカーの開発	千駒 浩樹	分子制御内科学	1,700	日本学術振興会 科学研究費補助金 補委
21	子宮内膜症組織培養系の確立と月経血の抗原性による子宮内膜症発症機序の解明	岩部 富夫	生殖機能医学	1,900	日本学術振興会 科学研究費補助金 補委
22	発達早期の社会的ストレスが辺縁系GABA性神経系機能に及ぼす影響に関する研究	兼子 幸一	精神行動医学	2,200	日本学術振興会 科学研究費補助金 補委
23	緑膿菌の抗菌薬耐性に関わる外膜蛋白質変異の迅速検査法の開発とサーベイランスの実践	堀井 俊伸	細菌学	900	文部科学省 科学研究費補助金 補委
24	筋萎縮性側索硬化症の病態解明および骨髓間質細胞移植による治療効果の検討	北山 通朗	法医学	1,000	文部科学省 科学研究費補助金 補委
25	口腔癌の標的因子による抗腫瘍療法の開発を目指したNaアセチロームの網羅的解析	田嶋 千子	歯科口腔外科	1,400	文部科学省 科学研究費補助金 補委
26	ヒト口腔癌におけるEZH2の役割とEZH2siRNAによる抗腫瘍効果の検討	木谷 審典	口腔顎顔面病態外科学	1,000	文部科学省 科学研究費補助金 補委
27	インスリン抵抗性からみた拡張障害心不全の新たな治療法の開発	荻野 和秀	卒後臨床研修センター	1,100	日本学術振興会 科学研究費補助金 補委
28	咽喉頭における温度受容の組織学的検討	三宅 成智	頭頸部診療科群	900	日本学術振興会 科学研究費補助金 補委
29	声門部流速変動の解析に基づいた音声発現機構の解明	片岡 英幸	頭頸部診療科群	600	日本学術振興会 科学研究費補助金 補委
30	急性肺傷害に対するリン脂質投与の予防効果に関する研究:カルジオリピンを中心に	持田 晋輔	麻酔科診療科群	500	日本学術振興会 科学研究費補助金 補委
31	薬用ハーブパルテノライドによる子宮内膜症細胞増殖抑制に関する基礎研究	谷口 文紀	女性診療科	1,800	日本学術振興会 科学研究費補助金 補委
32	炎症制御を主眼とした難治性角結膜疾患の器官再生的病態探索と分子治療法の開発	宮崎 大	眼科	2,300	日本学術振興会 科学研究費補助金 補委
33	酸性グルコセレブロシダーゼによるスフィンゴ脂質シグナルの制御	北谷 和之	検査部	900	日本学術振興会 科学研究費補助金 補委
34	骨髓間葉系細胞培養シートによる難治性皮膚潰瘍治療法の開発	陶山 淑子	形成外科	800	文部科学省 科学研究費補助金 補委
35	黄砂の気管支喘息への影響	渡部 仁成	第三内科診療科群	200	文部科学省 科学研究費補助金 補委
36	LKB1遺伝子異常に基づく肺がん個別化治療の基礎的検討	松本 慎吾	第三内科診療科群	1,400	文部科学省 科学研究費補助金 補委
37	FALSにおけるプロテアソーム機能低下に伴うSOD過剰発現の機構解明と治療	安井 建一	神経内科	900	文部科学省 科学研究費補助金 補委
38	呼吸器疾患における時計遺伝子発現の分子生物学的機能解析	服岡 泰司	第三内科診療科群	1,300	文部科学省 科学研究費補助金 補委

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1. 研究費補助金等の実績(平成21年度)

	研究課題名	研究者名		金額(千円)	補助元又委託先
39	イオンチャネルの遺伝子多型とゲノム刷り込み現象が全身麻酔薬の効果に及ぼす影響	大槻 明広	がんセンター	1,600	(補)文部科学省 (委)科学研究費補助金
40	レチノイン酸応答性の新規機能性RNAの同定による肝細胞癌の診療への応用	沢田 剛史	遺伝子医療学	5,300	(補)日本学術振興会 (委)科学研究費補助金
41	イーラーニングシステムを利用した発達障害児を持つ親支援プログラムの効果	井上 雅彦	臨床心理学	500	(補)日本学術振興会 (委)科学研究費補助金
42	内発的動機付けと治療フィデリティが認知矯正療法に与える効果	最上多美子	臨床心理学	900	(補)日本学術振興会 (委)科学研究費補助金
43	チャンネル遺伝子を用いた胚性幹細胞由来バイオペースメーカーの確立と治療への応用	久留 一郎	再生医療学	1,000	(補)日本学術振興会 (委)科学研究費補助金
44	認知症スクリーニング検査の開発	竹田 伸也	臨床心理学	600	(補)文部科学省 (委)科学研究費補助金
45	ロールレタリングの内容評定チェックリストの作成と活用	金子 周平	臨床心理学	1,100	(補)文部科学省 (委)科学研究費補助金
46	黄砂の気管支喘息への影響	渡部 仁成	第三内科診療科群 <繰越分>	120	(補)文部科学省 (委)科学研究費補助金
47	肺癌における薬物輸送蛋白BCRPの過剰発現制御機構の解明と臨床的意義	高根 浩	薬剤部 <繰越分>	270	(補)文部科学省 (委)科学研究費補助金
48	インスリン抵抗性からみた拡張障害心不全の新たな治療法の開発	荻野 和秀	卒後臨床研修センター <繰越分>	900	(補)日本学術振興会 (委)科学研究費補助金

2 研究発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Hepato-Gastroenterology 2009; 56: 1100-1104	Effect of an angiotensin-II type-1 receptor blocker, candesartan on hepatic	Ueki M	第二内科
Intern Med 2009; 48: 3-10	Rapid identification of bacterial species with bacterial DNA microarray in cirrhotic patients with spontaneous bacterial peritonitis.	Sugihara T	第二内科
Intern Med 2009; 48: 11-17	Nucleotide analogs for patients with HBV-related hepatocellular carcinoma	Koda M	第二内科
Mol Med Rep 2009; 2: 345-351	Extracellular matrix metabolism-related gene expression in bile duct-ligated	Sugihara T	第二内科
Mol Med Rep 2009; 2: 857-864	Preventative and therapeutic effects of perindopril on hepatic fibrosis induced by bile duct ligation in rats.	Ueki M	第二内科
Yonago Acta Med 2009; 52: 47-56	Functional polymorphisms in the promoter regions of matrix metalloproteinase-2, -3, -7, -9 and TNF-alpha genes, and the risk of colorectal neoplasm in Japanese.	Maeda N	第二内科
Clin Imag 2010; 34: 60-64	Assessment of the ablated area after radiofrequency ablation by contrast-enhanced sonography; comparison with virtual sonography with magnetic navigation.	Koda M	第二内科
Int J Mol Med 2010; 25: 875-882	The effects of the selective mineralocorticoid receptor antagonist eplerenone on hepatic fibrosis induced by bile duct ligation in rat.	Matono T	第二内科
鳥取医学雑誌,37(1-2),3-10,2009-06	心不全の外科的治療 -最近の進歩-	西村元延	第二外科
若年者心疾患対策協議会誌,37(1),28-32,2009-08	重症心不全に対する治療の現状と将来	西村元延	第二外科
胸部外科,62(12),1053-1055,2009-11	開心術後正中創感染に対する持続陰圧吸引療法	中村嘉伸	第二外科
International Angiology,28(4),340-343,2009-08	Vacuum-assisted closure for bilateral severe ischemic foot after revascularization: a case report	Ishiguro S	第二外科
Journal of Artificial Organs,12(3),210-212,2009-09	Distribution of certified perfusionists in core training institutions accredited by the Japanese Board of Cardiovascular Surgery in Japan	西村元延	第二外科
癌と化学療法,36(13),2619-2622,2009-12	術前化学療法が奏効せず急速な臨床経過をとった乳腺原発性扁平上皮癌の1例	内田 尚孝	第二外科
日本医事新報,第4473号,54-58,2010-01	胸部大動脈瘤に対する外科治療の現状と将来展望	西村元延	第二外科
『メディカ出版』監修:四津良平 編著:関口 敦,第5巻増刊,8-19,2010-03	総論 1.補助循環の適応病態ー心不全ー 2.補助循環の種類と使い分け決定版病棟必携!カラーでみる補助循環マニュアルー基礎知識から最新の動向までー	西村元延	第二外科
『秀潤社』監修:澤 芳樹,34-44,2010-03	総論 4. PCPS重症心不全の治療、補助循環・人工心臓・再生医療の実際	西村元延	第二外科
Bone,44(6),1078-1084,2009	A double-blinded head-to-head trial of minodronate and alendronate in women with postmenopausal osteoporosis	Hagino H	リハビリーション部
Health Policy,91,204-210,2009	Comparison of outcomes and costs after hip fracture surgery in three hospitals that have different care systems in Japan	Hagino H	リハビリーション部
J Bone Miner Metab,27(1),57-65,2009	Comparison of osteoclast precursors in peripheral blood mononuclear cells from rheumatoid arthritis and osteoporosis patients	Hagino H	リハビリーション部
J Obstet Gynaecol Res,35(6),1069-1076,2009	Long-term use of dienogest for the treatment of endometriosis	Hagino H	リハビリーション部
Osteoporos Int,20(5),695-702,2009	Sequential Change in Quality of Life for Patients with Incident Clinical Fractures: a Prospective Study	Hagino H	リハビリーション部
Osteoporos Int,20(4),543-548,2009	Recent Trend in the Incidence and Lifetime Risk of Hip Fracture in Tottori, Japan	Hagino H	リハビリーション部
Osteoporos Int,20(7),1215-1224,2009	Measurement of human trabecular bone by novel ultrasonic bone densitometry based on fast and slow waves	Hagino H	リハビリーション部
Osteoporos Int,20(8),1429-1437,2009	Effect of daily oral minodronate on vertebral fractures in Japanese postmenopausal women with established osteoporosis: a randomized placebo-controlled double-blind study	Hagino H	リハビリーション部
胸部外科 2009;62:295-9	胸腔鏡下肺癌肺切除に対するアプローチ法と手術侵襲の検討	中村廣繁	胸部外科
General Thorac Cardiovasc Surg 2010;58:126-30.	Surgical outcome of Video-assisted thoracic surgery (VATS) for acute thoracic empyema using pulse lavage irrigation.	Nakamura H	胸部外科
Ann Thorac Cardiovasc Surg 2009;15:250-2.	Subpleural intrapulmonary lymph node metastasis from colorectal cancer	Taniguchi Y	胸部外科
Interact Cardiovasc Thorac Surg 2009;9:102-6.	Prognostic significance of pleural lavage cytology after thoracotomy and before closure of the chest in lung cancer.	Taniguchi Y	胸部外科
General Thorac Cardiovasc Surg 2009;57:239-43.	Mediastinal lymph node carcinoma of an unknown primary site: clinicopathological examination.	Miwa K	胸部外科
Thorac Cardiovasc Surg 2010;58:124-6.	Mediastinal tuberculous lymphadenitis with intractable fistula to the anterior neck.	Miwa K	胸部外科
Lung Cancer 2009;65:223-9	Expression of minichromosome maintenance 7(MCM7) in small lung adenocarcinomas(pT1): Prognostic implication.	Fujioka S	胸部外科
Breast Cancer 2009;16:229-33.	Biphasic metaplastic carcinomatoid carcinoma of the breast: report of a case.	Haruki T	胸部外科
Ann Vascular diseases 2009;2:118-21.	Vasculo-Behcet's Disease that began with femoral arterial pseudoaneurysm followed by deep venous thrombosis: Report of a case.	Haruki T	胸部外科
Thorac Cardiovasc Surg 2009;57:1-3.	A case of G-CSF-producing invasive apical cancer resected following preoperative adjuvant therapy.	Takagi Y	胸部外科
Yonago Acta Medica 2009;52:91-4.	Neurogenic dumbbell tumor resected by combined posterior and thoracoscopic approaches.	Wakahara M	胸部外科
DENTAL DIAMOND,2009	診断てすと 開口障害	領家和男	歯科口腔外科
ドキシルR注による治療を受ける患者さんへ,2009	治療後の副作用 口内炎	領家和男	歯科口腔外科
コメディカルのためのドキシル注ポケットガイド(がん化学療法後に増悪した咽頭癌),2009	ドキシル注の副作用とサポートティプケア 口内炎	領家和男	歯科口腔外科
適正使用ガイド(がん化学療法後に増悪した咽頭癌)ドキシル注R20mg,2009	ドキシル注に特徴的な副作用とその対策 口内炎	領家和男	歯科口腔外科
チーム医療のための緩和ケア実践ハンドブック,2009	部位・症状からみた緩和ケアの解説と実践?口腔症状(口内炎等の予防のための口腔ケア)	領家和男	歯科口腔外科
外来診療ハンドディガイド,2009	消化器疾患 口内炎	領家和男	歯科口腔外科
Anti-Cancer Drugs,2009	Involvement of N-acetyltransferase human in the cytotoxic activity of 5-fluorouracil	Kazuko Takubo	歯科口腔外科
日本頸関節学会雑誌,2009	片側性筋突起過形成症術後に骨形成を認めた1例	古川清暁	歯科口腔外科
日本口腔外科学会雑誌,2009	外傷歴の不明な破傷風の2例	岡本充浩	歯科口腔外科
J Oral Pathol Med,2010	Minichromosome maintenance-7 and geminin are reliable prognostic markers in patients with oral squamous cell carcinoma: immunohistochemical study	Takayuki Tamura	歯科口腔外科
Gynecologic Oncology 113():331-334,2009	Clinicopathological characteristics of mucinous adenocarcinoma of the ovary	M.Shimada	産科婦人科

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Fertil.Steril. 91(5):2185-2192, 2009	Interleukin-10 attenuates TNF- α -induced interleukin-6 production in endometriotic stromal cells.	T.Harada	産科婦人科
J.Perinat.Med. 37(4):392-396, 2009	Detailed multigrade evaluation of fetal disorders with the quantified actocardiogram	T.Iwabe	産科婦人科
Am. J. Reprod.Immunol. 61(4):277-285, 2009	TNF α gene silencing reduced lipopoly saccharide-promoted proliferation of endometriotic stromal cells	T.Harada	産科婦人科
Molecular and Cellular Endocrinology 307(1~2):196-204, 2009	TAK1 activation for cytokine synthesis and proliferation of endometriotic cells	F.Taniguchi	産科婦人科
Fertil.Steril. 91(3):675-681, 2009	Dienogest is as effective as intranasal buserelin acetate for the relief of pain symptoms associated with endometriosis --a randomized, double-blind, multicenter, controlled trial	T.Harada	産科婦人科
Int. J. Gynecol Cancer 19(5):884-887, 2009	Preoperative and intraoperative assessments of depth of myometrial invasion in endometrial cancer	S.Sato	産科婦人科
Human Reprod. 24(12):3172-3179, 2009	The role of survivin in the resistance of endometriotic stromal cells to drug-induced apoptosis	T.Harada	産科婦人科
J.Obstet.Gynaecol.Res. 35(6):1069-1076, 2009	Long-term use of dienogest for the treatment of endometriosis	T.Harada	産科婦人科
Women's Health 6(1):27-35, 2010	Dienogest:a new therapeutic agent for the treatment of endometriosis	T.Harada	産科婦人科
Fertil.Steril. 93(1):325-327, 2010	Lipopolysaccharide promoted proliferation and invasion of endometriotic stromal cells via induction of cyclooxygenase-2 expression	T.Harada	産科婦人科
Mol. Endocrinol. 24(2):447-463, 2010	A Link between miR-100 and FRAP1/mTOR in Clear Cell Ovarian Cancer	H.Itamochi	産科婦人科
Surg Today 2009; 39: 290-294.	Recent results of therapy for scirrhous gastric cancer.	Ikeguchi M	第一外科
astric Cancer 2009; 12(2): 95-100.	Serum interleukin-6 and -10 levels in patients with gastric cancer.	Ikeguchi M	第一外科
株式会社ヴァンメディカル、東京 pp46-48, pp51-53、紀川純三 編、2009.	チーム医療のための緩和ケア実践ハンドブック 2. 部位・症状からみた緩和ケアの解説と実践 1)消化器症状 ④消化管閉塞、⑥腹水。	池口正英	第一外科
Surg Today 2009; 39(11): 925-8.	Free jejunal graft reconstruction after resection of neck cancers.our surgical technique.	Ikeguchi M	第一外科
癌と化学療法 2009; 36(12): 2058-2060.	スキルス胃癌に対する腹腔内化学療法	池口正英	第一外科
Surg Today 2010; 40: 228-233	Evaluation of a pylorus-preserving gastrectomy for patients preoperatively diagnosed with early gastric cancer located in the middle third of the stomach.	Ikeguchi M	第一外科
医薬ジャーナル社、曾和融生、井藤久雄 編、2010: pp294-302	スキルス胃癌-基礎と臨床-改訂版	池口正英	第一外科
J Exp Clin Cancer Res 2009; 28: 109-.	Multicenter safety study of mFOLFOX6 for unresectable advanced/recurrent colorectal cancer in elderly patients.	Katano K	第一外科
日本消化器外科学会雑誌 2009, 42: 1484-1489	原発性肝癌術後7年目に診断した孤発性横隔膜再発の1切除例	池口正英	第一外科
日本臨床 新領域別症候群シリーズ No. 12、2009年9月28日発行 pp682-684.	消化管症候群(第2版)下 -その他の消化管疾患を含めて- V 虫垂、憩室性疾患 虫垂慢性憩室	池口正英	第一外科
鳥取医誌 2009, 37: 16-19.	当科における腹腔鏡下大腸切除症例の検討	堅野国幸	第一外科
臨床外科 増刊号 64 (11), 180-182, 2009.	胃切除後再建における器械による空腸-空腸側吻合	辻谷俊一	第一外科
Yonago Acta medica 2010; 53: 1-7.	Expression of DNA methyltransferase (DNMT) 1, 3a and 3b proteins in human hepatocellular carcinoma	Miyake T	第一外科
Yonago Acta medica 2010; 53: 9-16.	NKG2D+CD4+ T cells with immune suppressive property increase in patients with colorectal cancer.	Saito H	第一外科
消化器外科 2010; 33: 307-313.	止血法-そのバリエーションと使い分け-	辻谷俊一	第一外科
消化器外科 2009, 32: 745-752.	胃癌:体部・幽門部-診断と治療法の選択-	建部 茂	第一外科
消化器外科 2010, 33: 601-602.	I.救急外来当直医必携、1. 救急・蘇生処置	建部 茂	第一外科
Invest Ophthalmol Vis Sci 50(4):1626-1635, 2009.	Regulatory function of CpG-activated B cells in late phase experimental allergic conjunctivitis.	Miyazaki D et al	眼科
J Cataract Refract Surg. 35(11):1970-1978, 2009.	Changes in drug susceptibility and the quinolone-resistance determining region of <i>Staphylococcus epidermidis</i> after administration of fluoroquinolones.	Inoue Y, et al	眼科
Invest Ophthalmol Vis Sci 50(11):5181-5188, 2009.	Blocking mast cell-mediated type 1 hypersensitivity in experimental allergic conjunctivitis by monocyte chemoattractant protein-1/CCR2.	Miyazaki D et al	眼科
Invest Ophthalmol Vis Sci 51(1):139-143, 2010.	Role of periostin and interleukin-4 in recurrence of pterygia.	Miyazaki D et al	眼科
臨眼 63(5):737-742, 2009	乳糜胸を合併した未熟児網膜症の1例。↓	馬場高志ほか	眼科
あたらしい眼科 26(6):815-819, 2009	鳥取大学における若年者の角膜感染症の現状。	池田欣史ほか	眼科
臨床眼科 63(6):955-959, 2009	ぶどう膜炎に続発した緑内障の緩和薬切削術後に生じた硝子体出血に対する23ゲージ硝子体手術が有用であった1例	池田欣史ほか	眼科
あたらしい眼科 26(8):1105-1107, 2009	コリネバクテリウムが起炎菌と考えられた感染性角膜炎の1例。	宮崎大ほか	眼科
あたらしい眼科 26(10):1393-1399, 2009	In vitro薬剤感受性検査によるトスフロキサシン単剤投与有効性の検証。	井上幸次ほか	眼科
Chembiochem. 2009 Nov 23;10(17):2780-92.	Chaperone activity of bicyclin nojirimycin analogues for Gaucher mutations in comparison with N-(n-nonyl)deoxynojirimycin.	Luan Z	脳神経小児科
Brain Dev. 31(7):480-4, 2009.	Perspective of child neurology in Japan.	Ohno K	脳神経小児科
Blood Cells Mol Dis. 2010 Jan 15;44(1):48-54. Epub 2009 Oct 25	The pharmacological chaperone effect of N-octyl-beta-valienamine on human mutant acid beta-glucosidases.	Luan Z	脳神経小児科
脳と発達 42:92-102, 2010	遺伝性神経疾患の神経変性機構の解明と治療法の開発-Niemann-Pick病C型について-	大野耕策	脳神経小児科
Int J Radiat Oncol Bio Phys 2009 Oct 28	Radiation-induced damage to microstructure of parotid gland: evaluation using high-resolution magnetic resonance imaging.	Kan T, et al	放射線科
Cardiovasc Intervent Radiol 32:296-302, 2009	Creation of a tumor-mimic model using a muscle paste for radiofrequency ablation of the lung.	Kaminou T, et al.	放射線科
ペリネイタルケア,2009(夏増刊),30-35,2009.6	すれ違いコミュニケーションをなくそう！すぐ使える70の事例から学ぶ母乳育児支援ブック 第2章イラストで学ぶ母乳と母乳育児支援の基礎知識 母乳の構成物	長田郁夫	小児科
日本臨床,68(増刊2 肥満症),501-505,2010.2	肥満症(第2版) 基礎・臨床研究の進歩 肥満症の疫学・病態・診断学の進歩 症候性肥満 病因・病態・管理法 遺伝性肥満 Aistroem症候群	神崎晋	小児科
日本臨床,68(増刊2 肥満症),692-696,2010.2	小児肥満の管理-介入・治療における留意点 小児肥満症 特殊な病態における肥満症の診断と治療 IV肥満症の予防・治療学の進歩	長石純一	小児科
看護学大事典,和田 攻ほか編集,医学書院,東京,30-31,2010.3	B型肝炎母子感染	長田郁夫	小児科
看護学大事典,和田 攻ほか編集,医学書院,東京,223,2010.3	イクテロメーター	長田郁夫	小児科

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
看護学大事典,和田 攻ほか編集,医学書院,東京,1218,2010.3	ジアノッティ・クロスティ病。	長田郁夫	小児科
看護学大事典,和田 攻ほか編集,医学書院,東京,1568,2010.3	新生児早発黄疸	長田郁夫	小児科
看護学大事典,和田 攻ほか編集,医学書院,東京,1572,2010.3	新生児溶血性黄疸。	長田郁夫	小児科
看護学大事典,和田 攻ほか編集,医学書院,東京,2712,2010.3	母乳性黄疸	長田郁夫	小児科
Bone.,44(4),648-55,2009 Apr	Type 2 diabetic mice demonstrate slender long bones with increased fragility secondary to increased osteoclastogenesis.	Kawashima Y	小児科
FASEB J.,23(3),709-19,2009 Mar	Serum complexes of insulin-like growth factor-1 modulate skeletal integrity and carbohydrate metabolism.	Kawashima Y	小児科
Diabetologia.,52(7),1434-41,Epud 2009 May	Apolipoprotein E deficiency abrogates insulin resistance in a mouse model of type 2 diabetes mellitus.	Kawashima Y	小児科
J Clin Exp Hematop.,49(1),45-51,2009 May	Epstein-Barr virus associated post-transplant Hodgkin lymphoma in an adult patient after cord blood stem cell transplantation for acute lymphoblastic leukemia.	Okuno K	小児科
Eur J Pharmacol.,611(1-3),72-76,2009 Mar [Epub ahead of print]	Characterization of the ileal muscarinic receptor system in 70-week-old type II Goto-Kakizaki diabetic rats; effects of cyclohexenonic long-chain fatty alcohol.	Okada S	小児科
Mol. Genet Metab.,97(4),239-40,2009	Fluctuating liver functions in siblings with MPV17 mutations and possible improvement associated with dietary and pharmaceutical treatments targeting respiratory chain complex II.	Nagata I	小児科
J Bone Miner Res.,25(2),235-246, 2009 Dec	Growth Hormone Protects Against Ovariectomy-Induced Bone Loss in States of Low Circulating IGF-1	Kawashima Y	小児科
Brain Dev.,31(9),649-656,2009 Oct	Associated factors with neonatal hypoglycemic brain injury.	Nagata I	小児科
J Bone Miner Res.,24(8),1481-92,2009 Aug	Serum IGF-1 determines skeletal strength by regulating subperiosteal expansion and trait interactions.	Kawashima Y	小児科
J Biol Chem.,285(7),4709-14,2010 Feb	The insulin-like growth factor-1 (IGF-1) binding protein acid-labile subunit (ALS) alters mesenchymal stromal cell fate.	Kawashima Y	小児科
小児科,50(3),383-387,2009.3.	Reversible posterior leukoencephalopathy syndrome(RPLS)の2小児例	佐野仁志	小児科
臨床眼科,63(5),737-742,2009.5	乳糜胸を合併した未熟児網膜症の1例	堂本友恒	小児科
日本未熟児新生児学会雑誌,21(2),103-109,2009.6	プレドニゾロン投与により胸水量が減少した先天性乳び胸の1例	堂本友恒	小児科
日児誌,114(1),64-72,2010.01	小児の劇症肝不全における劇症化の診断と予知に関する検討	長田郁夫	小児科
日本臨床,68(增2),692-696,2010.2	小児肥満の管理ー介入・治療における留意点 小児肥満症 特殊な病態における肥満症の診断と治療 IV肥満症の予防・治療学の進歩	長石純一	小児科
小児科診療(増刊号),72(9),1633-1642,2009.09	新生児の感染症(C型肝炎ウイルス)	村上 潤	小児科
Clin Exp Dermatol,34(7): e461-e462, 2009	A morphological comparison of a mixed tumor of the skin on the nasal tip: magnetic resonance imaging and histopathological features.	Adachi K, et al.	皮膚科
Eur J Dermatol,19(2): 181-182, 2009	Symmetrical congenital dermoid fistulae of the anterior chest region.	Adachi K, et al.	皮膚科
Eur J Dermatol,19(2): 174-175, 2009	Granuloma annulare detected by positron emission tomography with computed tomography in a diffuse large B cell lymphoma.	Shindo M, et al.	皮膚科
Patol Int,59(5): 326-331, 2009	Acquired reactive perforating collagenosis with the histological features of IgG-related sclerosing disease in a patient with Mikulicz's disease.	Shiomi T, et al.	皮膚科
Eur J Dermatol ,19(5): 526-527, 2009	Photoallergic contact dermatitis in a pig farmer, caused by cotrimoxazole.	Watanabe T, et al.	皮膚科
Clin Exp Dermatol,34(7): 343-344, 2009	Multorgan involvement in Sweet's syndrome.	Watanabe T, et al.	皮膚科
J Cutan Pathol,36(12): 1299-1302, 2009	A morphological study of granulomas induced by subcutaneous injection of leuprolide acetate.	Watanabe T, et al.	皮膚科
Arch Dermatol,145(5): 589-594, 2009	Papules on the nape. Postherpetic granuloma annulare-like reaction (Wolf isotopic response).	Watanabe T, et al.	皮膚科
J Dermatol,36(12): 674-675, 2009	Cutaneous lipomatous neurofibroma.	Yoshida Y, et al.	皮膚科
Eur J Dermatol,19(6): 646, 2009	Dermoscopic features of ulcerated gouty tophus.	Yoshida Y, et al.	皮膚科
J Dermatol,36(4): 241-244, 2009	Ulcerative pigmented squamous cell carcinoma in a 101-year-old Japanese woman.	Yoshida Y, et al.	皮膚科
Acta Derm Venereol,90(2): 223-224, 2010	Unusual features of peristomal erosion: A quiz	Adachi K, et al.	皮膚科
Acta Derm Venereol,90(2): 196-107, 2010	Sebaceous carcinoma with actinic keratosis	Nakashima K, et al.	皮膚科
J Eur Acad Dermatol Venereol,24(3): 357-358, 2010	A case of symmetrical drug-related intertriginous and flexural exanthema induced by lofazopate ethyl	Watanabe T, et al.	皮膚科
内分泌外科,27(1),56-60,2010-03	乳腺乳頭部腺腫の1手術例および本邦報告例の集計	内田 尚孝	第二外科
ONCOLOGY REPORTS 21:1189-1195,2009	Immunohistochemical expression of geminin in colorectal cancer: Implication of prognostic significance	Ogawa T	放射線科
Acta Radiol 50 :954-957,2009	Magnetic Resonance Imaging Findings of Ovarian Stromal Hyperthecosis	Fujii S	放射線科
AJNR 30 :1725-30,2009	Cerebellar Lesions in Multiple System Atrophy:Postmortem MR Imaging-Pathologic Correlations	Matsusue E	放射線科
Jpn J Radiol 27(9):371-374,2009	Intrathoracic splenosis:evaluation by superparamagnetic iron oxide-enhanced magnetic resonance imaging and radionuclide scintigraphy	Miyoshi H	放射線科
画像診断 29(1):86-87,2009	画像診断のkey words	田原 譲	放射線科
画像診断 29(1):25-32,2009	卵巣の非腫瘍性病変	藤井進也	放射線科
臨床放射線 54(2):238-245,2009	脳変性疾患の3T MRI	藤井進也	放射線科
臨床放射線 54(2):315-318,2009	骨シンチグラフィが有用であった肺石灰化症を伴った透析腎癌の1例	小川敏英	放射線科
臨床放射線 54(3):416-422,2009	化膿性脊椎炎のMRI所見	小川敏英	放射線科
臨床放射線 29(5):444-456,2009	大脳辺縁系	小川敏英	放射線科
臨床放射線 29(2):224-227,2009	画像診断のkey words	藤井進也	放射線科
臨床放射線 29(3):352-355,2009	画像診断のkey words	藤井進也	放射線科
臨床放射線 29(5):528-531,2009	画像診断のkey words	藤井進也	放射線科
脳脊髄のMRI 第2版215-234,2009	脳血管障害(脳内出血)	小川敏英	放射線科
脳脊髄のMRI第2版235-238,2009	脳血管障害(くも膜下出血)	小川敏英	放射線科

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
臨床放射線 54(5):637-640,2009	甲状腺未分化癌における放射線治療の役割	菅 智子	放射線科
臨床放射線 54(5):641-644,2009	鼻前庭部に発生した血管平滑筋腫の1例	藤井進也	放射線科
臨床放射線 54(6):792-795,2009	漿膜下子宮筋腫茎捻転の1例	藤井進也	放射線科
臨床放射線 54(7):903-906,2009	感染症嚢胞の同定に拡散強調像が有用であったADPKDの2例	小川敏英	放射線科
臨床放射線 29(9):958-959,2009	視床の二次変性	小川敏英	放射線科
画像診断 29(10):1098-1099,2009	Waller変性	松末英司	放射線科
臨床放射線 29(9):1101,2009	知っておきたい虚血性脳血管障害の知識	小川敏英	放射線科
臨床放射線 29(9):1133-1139,2009	Conventional MRI	松末英司	放射線科
癌の臨床 55(4):309-313,2009	85歳以上の高齢者に対する放射線治療の検討	菅 智子	放射線科
Medicina 46(12):44-50,2009	海馬	松末英司	放射線科
日獨医報 54(3-4):76-82,2009	SPECT	三好秀直	放射線科
NJC 築後・佐賀症例集2009(14) :1-6,2009	3T時代の脳のMR診---susceptibility weighted imagingを中心に---	小川敏英	放射線科
形成外科 2010年3月	遊離皮弁による中咽頭再建術	中山敏	形成外科
創傷 2010年1月	埋込み型ペースメーカー・除細動器露出・感染例に対する外科的治療	陶山淑子	形成外科
J Clin Endocrinol Metab 94:442-448,2009	Pendrin is a novel autoantigen recognized by patients with autoimmune thyroid diseases.	Yoshida A	第一内科
Chest 136:125-129,2009	Appropriate use of nasal continuous positive airway pressure decreases elevated C-reactive protein in patients with obstructive sleep apnea.	Ishida K	第一内科
Circ J 73(12):2276-2281,2009	A simple risk score to predict in-hospital death of elderly patients with acute decompensated heart failure: hypoalbuminemia as an additional prognostic factor.	Kinugase Y	第一内科
Circ J 73(8):1363-1370,2009	Obstructive sleep apnea and cardiovascular disease.	Kato M	第一内科
Circ Heart Fail 3:73-81,2010	Uric acid-lowering treatment with benzbromarone in patients with heart failure: a double-blind placebo-controlled crossover preliminary study.	Ogino K	第一内科
Hypertens Res 32(5):419-22,2009	Usefulness of three-dimensional echocardiography in assessing right ventricular function in patients with primary pulmonary hypertension.	Shigemasa C	第一内科
脊椎・脊髄神経手術 2009年	当施設における後方要素温存片開き式頸椎椎弓形成術(K-metho)の治療成績	赤塚啓一	脳神経外科
日本内分泌学会雑誌 2009年	下垂体腺腫の3TMRI画像について	黒崎雅道	脳神経外科
Eur J Radiol 2009年	Three-dimensional gradient echo versus spin echo sequence in contrast-enhanced imaging of the pituitary gland at 3T	Kuroasaki M	脳神経外科
Neurol Res 2009	Application of phase sensitive imaging (PSI) for hemorrhage diagnosis in pituitary adenomas	Kuroasaki M	脳神経外科
耳鼻臨床,102,2,103-108	中耳手術後の感染予防についての検討	長谷川賢作	耳鼻咽喉科
Yonago Acta Medica,52,73-76	Large-cell Undifferentiated Carcinoma the Submandibular Gland	Kazunori Fujiwara	耳鼻咽喉科
JOHNS,25,3,491-494	健康食品のアレルギー性鼻炎に対するエビデンスについて教えてください	竹内裕美	耳鼻咽喉科
日本鼻科学会,48,1,51-52	鼻閉の診断における鼻腔通気性的客観的評価	竹内裕美	耳鼻咽喉科
Otol Japan,19,1,64-68	側頭骨への腫瘍形成白血病の1例	國本泰臣	耳鼻咽喉科
鳥取県西部医師会,148,14-15	経鼻内視鏡に必要な耳鼻咽喉科領域内の解剖学的知識(鼻腔内)	福島慶	耳鼻咽喉科
ENTONI,100,別冊,55-59	副鼻腔炎	竹内裕美	耳鼻咽喉科
応用薬理,76,(3/4),71-77	スギ花粉症に対するプロポリスの至適摂取量についての臨床検討[2006年における検討]	竹内裕美	耳鼻咽喉科
YonagoActa medica,52,52-90	Allele-Specific Expression Analysis of PEG1/MEST in Head and Neck Squamous Cell Carcinomas	Hideyuki Kataoka	耳鼻咽喉科
耳鼻と臨床,55,(補2),inpress	当科における誤嚥防止術(喉頭気管分離術、喉頭全摘術、声門下喉頭閉鎖術)症例の検討	河本勝之	耳鼻咽喉科
JOHNS,25,9,1333-1336	外傷による鼻漏管閉塞症	竹内裕美	耳鼻咽喉科
耳鼻咽喉科展望,52,5,120-123	iPLAN ENT®を用いた術中ナビゲーションへの応用	長谷川賢作	耳鼻咽喉科
JOHNS,25,12,1800-1802	予防医学からみた甲状腺癌	藤原和典	耳鼻咽喉科
頭頸部癌,35,4,350-355	化学放射線療法後の転移リンパ節について	片岡英幸	耳鼻咽喉科
日耳鼻 専門医通信,101,20-21	頭頸部癌の救済手術	片岡英幸	耳鼻咽喉科
Otol Japan,19,5,660-665	外耳道癌手術におけるplanned navigation surgeryの有用性	長谷川賢作	耳鼻咽喉科
鳥取医学雑誌,37,3・4,60-63	頭頸部外科からみた甲状腺治療	北野博也	耳鼻咽喉科
Pharmacol	genotypes after irinotecan-based chemotherapy	Hiroya Kitano	耳鼻咽喉科
日本遠隔医療学会雑誌5(2):204-206、2009	衛星利用在宅医療災害医療支援システムの画像端末の輝度特性-iPhoneと iPod touchはDICOM画像端末として使えるか-	近藤博史	医療情報部
International Journal of Computer Assisted Radiology and Surgery vol. 4, Suppl. 1. June 2009 pp s169-s170, 2009	EMR and total integrated PACS with reports and scanned data on a server based computing	Kondoh H	医療情報部
Stud Health Technol Inform 143: 435-440, 2009	Effective solutions in introducing Server-Based Computing into a hospital information system.	Kuwata S	医療情報部
Neuroepidemiology. 2009;32(2):101-6.	Prevalence of dementia in the rural island town of Ama-cho, Japan.	和田健二	神経内科
Neuroepidemiology. 2009;32(4):263-9.	Changes in prevalence and incidence of Parkinson's disease in Japan during a quarter of a century.	山脇美香	神経内科
Eur J Neurol. 2009;16(5):589-94.	Assessment of dementia in patients with multiple system atrophy.	北山透朗	神経内科
Intern Med. 2009;48(7):581-2.	Peripheral nerve hypertrophy in chronic inflammatory demyelinating polyradiculoneuropathy detected by ultrasonography.	Nakashima K	神経内科
Eur Neurol. 2009;62(5):304-10.	Long-term prognosis of patients with large subcortical infarctions.	周藤豊	神経内科

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Intern Med. 2009;48(19):1779-80.	Lumbar spinal nerve root hypertrophy in Waldenström's macroglobulinemia-associated polyneuropathy with antisulphated glucuronyl paragloboside antibody.	伊藤悟	神経内科
J Neurol Sci. 2009;287(1-2):36-40.	Validation of the Parkinson's disease sleep scale in Japanese patients: a comparison study using the Pittsburgh Sleep Quality Index, the Epworth Sleepiness Scale and Polysomnography.	植村佑介	神経内科
Neurosci Res. 2010;66(1):124-30.	Endogenous catecholamine enhances the dysfunction of unfolded protein response and alpha-synuclein oligomerization in PC12 cells overexpressing human alpha-synuclein.	伊藤悟	神経内科
婦人科の実際, 58(4):609-613, 2009-4	分子標的治療薬の現況と将来展望 ③分子標的治療薬の展望	紀川純三	がんセンター
産科と婦人科, 76(7):862-863, 2009-7	広汎子宮全摘術における直腸側腔・膀胱側腔展開の一工夫	紀川純三	がんセンター
化療ニュース(婦人科悪性腫瘍化学療法研究機関), 18(12-4):2009	卵巢粘液性腺癌に対する新しい化学療法の試み	紀川純三	がんセンター
臨床腫瘍プラクティス, 5(3):252-255, 2009-8	子宮がんのセカンドライン化学療法	紀川純三	がんセンター
化療ニュース(婦人科悪性腫瘍化学療法研究機関), 18(2):1-4, 2009	JGOG17のトランスレーショナルリサーチの目指すもの	紀川純三	がんセンター
第7回婦人科悪性腫瘍化学療法研究機関年次会議(総会)記録集, 42-44, 2009-9	COG Japan委員会報告	紀川純三	がんセンター
卵巢癌診療ハンドブック/杉山徹/ヴァンメディカル, 196-200, 2009-10	11.組織型からみた治療方針 2)粘液性腺癌	紀川純三	がんセンター
新臨床腫瘍学(改訂2版), 584-591, 2009-11	子宮がん	紀川純三	がんセンター
婦人科癌化学療法ポケットマニュアル, 95-104, 2009-11	③卵巢癌4)性索間質性腫瘍化学療法	紀川純三	がんセンター
気管支学, 31(6):403-405, 2009-11	右内胸動脈縦隔枝塞栓を併用して内視鏡下に切除した気管原発栓様癌の1例	牧野晴彦	がんセンター
臨床婦人科産科, 63, 12, 1549-1551, 2009-12	婦人科がん術後のイレウス	紀川純三	がんセンター
薬理と治療, 37, 151-154, 2009-12	非B非C型肝癌におけるNASHの関与	大山賢治	がんセンター
肝臓, 50, 12, 719-724, 2009-12	肉芽腫性炎症を伴った梅毒性肝炎の1例	大山賢治	がんセンター
今日の治療指針2009, 51, 933-934, 2009	子宮頸癌	紀川純三	がんセンター
気管支学, 32(1):47-51, 2010-1	ナビゲーションシステムと細径気管支鏡を併用したCTガイド下径気管支的肺生検が間質性肺炎に合併した末梢小型肺腺癌の診断に有用であった	牧野晴彦	がんセンター
産婦人科の進歩, 1, 42-43, 2010-2	卵巢粘液性腺癌の臨床病理学的検討 多施設共同研究	紀川純三	がんセンター
臨床腫瘍プラクティス, 6(1):81-85, 2010-2	摂瘤予防のケア	紀川純三	がんセンター
Gynecol Oncol., 113(3):331-4, 2009-6	Clinicopathological characteristics of mucinous adenocarcinoma of the ovary.	紀川純三	がんセンター
Int J Gynecol Cancer., 19(5):834-7, 2009-7	Phase II study of intraperitoneal carboplatin with intravenous paclitaxel in patients with suboptimal residual epithelial ovarian or primary peritoneal cancer: a Sankai Gynecology Cancer Study Group Study.	紀川純三	がんセンター
Int J Gynecol Cancer., 19(5):884-7, 2009-7	Preoperative and intraoperative assessments of depth of myometrial invasion in endometrial cancer.	紀川純三	がんセンター
J Cancer Res Clin Oncol., 136(3):475-81, 2009-9	Identification of potential serum markers for endometrial cancer using protein expression profiling	紀川純三	がんセンター
Hepatogastroenterology, 56(94-95):1516-20, 2009-9-10	Partial analysis of hepatitis B virus DNA from hepatocellular carcinoma showing negative hepatitis B virus surface antigen: an analysis of two Japanese cases.	大山賢治	がんセンター
Int J Gynecol Cancer., 19(8):1353-7, 2009-11	The impact of complete surgical staging upon survival in early-stage ovarian clear cell carcinoma: a multi-institutional retrospective study.	紀川純三	がんセンター
Clin Imaging, 34(1):60-4, 2009-1-2	Assessment of the ablated area after radiofrequency ablation by contrast-enhanced sonography; comparison with virtual sonography with magnetic navigation	大山賢治	がんセンター
Int J Gynecol Cancer., 20(2):220-6, 2010-2	Differential expression of hypoxia-inducible protein 2 among different histological types of epithelial ovarian cancer and in clear cell adenocarcinomas.	紀川純三	がんセンター
BMC Gastroenterol., 10(1):46, 2010-3	A novel biomarker TERT mRNA is applicable for early detection of hepatoma.	大山賢治	がんセンター
臨床家マニュアル, 星和書店, 東京, 2009.	精神疾患における認知機能障害の矯正法	中込和幸	精神科
中山書店, 東京, pp.120-125, 2009.	4. 気分障害とHPA系、3章 精神疾患への応用、福田正人編、精神疾患とNIRS 光トポグラフィー検査による脳機能イメージング	中込和幸	精神科
研友企画出版, 東京, 2009.	EBMシリーズ「統合失調症」正しい治療がわかる本	中込和幸	精神科
メジカルレビュー社, 東京, pp.45-58, 2009.	Lecture 4 治療、久保木富房、坪井廉次、神庭重信編、「うつ」を見抜く! 対処する! プライマリケア医のためのうつ病診療	山田武史	精神科
東京大学出版会, 東京, pp.297-334, 2009.	第14章・精神薬理学、金生由紀子、下山晴彦編、精神医学を知るメンタルヘルス専門職のために	中込和幸	精神科
星和書店, 東京, 2009.	第7章 長期効果-QOL、認知機能、石郷岡純編、クエチアピンを使いこなす	長田泉美	精神科
新興医学出版社, 東京, 2009.	第5章 認知機能とその改善、A. 抗精神病薬、I. 主として抗DA薬、抗5-HT薬、精神疾患と認知機能研究会編、山内俊雄編集統括、精神疾患と認知機能	長田泉美	精神科
照林社, 東京, 2009.	1. 抗精神病薬、II 向精神薬の特徴と使い方、風祭元監修、よくわかる精神科薬物ハンドブック	中込和幸	精神科
照林社, 東京, 2009.	1. 気分安定薬、II 向精神薬の特徴と使い方、風祭元監修、よくわかる精神科薬物ハンドブック	中込和幸	精神科
中山書店, 東京, 2010.	I 難治性、治療抵抗性とは、中込和幸責任編集、難治性精神障害へのストラテジー、専門医のための精神科臨床リュミエール15	中込和幸	精神科
医学書院, 東京, 2010.	19.早期精神病における再発予防、第7部治療臨界期:特異的介入方法、Ed. Jackson HJ and McGorry PD;水野雅文、鈴木道雄、岩田伸生監訳、早期精神病の診断と治療	中込和幸	精神科
照林社, 東京, 2010.	あったか介護・看護のための用語集、「選択的絶默」等10項目、水澤英洋他編著	兼子幸一	精神科
臨床精神医学, 38(4):447-453, 2009.	気分障害の薬物療法と認知機能。	長田泉美	精神科
精神科臨床サービス, 9(2):191-196, 2009.	障害特性と就労支援―認知機能障害に焦点をあてて―	中込和幸	精神科
臨床と研究, 86(8):21-25, 2009.	不安障害の薬物療法、特集／最新の向精神薬の使い方ーうつ・不安・睡眠障害。	山田武史	精神科
調剤と情報, 16(3), 18-21, 2010.	特集Part2うつ病とアセチルセリン・シンドローム	横山勝利	精神科
Mebio, 27(4):112-118, 2010.	<内科医も知っておきたいうつ病のトピックス>他の精神疾患の併存(不安障害、攝食障害、物質依存、人格障害など)	横山勝利	精神科
Schizophrenia Frontier, 11(1):6, 2010.	特集にあたって、特集:統合失調症と生活習慣	中込和幸	精神科

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Schizophrenia Frontier, 11 (1): 42-45, 2010.	統合失調症に対する生活指導. 特集: 統合失調症と生活習慣	長田泉美	精神科
精神科治療学, 25(4): 539-545, 2010.	統合失調症患者に対する社会認知ならびに対人関係のトレーニング (SCIT)	中込和幸	精神科
Psychogeriatrics, 9: 4-10, 2009.	Effectiveness of the Takeda Three Colors Combination Test as a screening test for dementia.	Nakagome K	精神科
精神科治療学, 24: 729-734, 2009.	Paroxetineによる寝汗の臨床的特長について。	中込和幸	精神科
臨床精神薬理, 12: 1841-1845, 2009.	Quetiapine投与中に持続勃起症を呈した統合失調症の1症例.	長田泉美	精神科
精神医学, 51(10): 999-1008, 2009.	統合失調症の認知機能障害に対する認知矯正療法の効果に関する予備的検討.	朴盛弘	精神科
Psychiatry Clin Neurosci, 64(1): 44-51, 2010.	Does daily Naikan therapy maintain the efficacy of intensive Naikan therapy against depression?	Nakagome K.	精神科
精神医学, 52(4): 393-400, 2010.	うつ病女性患者への集中内観療法による介入研究.	朴盛弘	精神科

合計250

(注) 1 当該医療機関に所属する医師等が、掲載に当たって内容審査を行っている雑誌に研究成果を原著論文として申請の前年度に発表したものうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断される主なものを記入すること（当該医療機関に所属する医師等が主たる研究者であるものに限る。）
 2 「発表者氏名」欄は、1つの論文発表について発表者が複数いる場合は、主たる発表者の氏名を記入すること。

(様式第12)

診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の管理方法

管理責任者氏名	病院長 豊島良太
管理担当者氏名	総務課長 石井邦彦、学務・研究課長 山根茂雄、医療サービス課長 田邊鉄太郎

		保管場所	分類方法
診療に関する諸記録 病院日誌、各科診療日誌、処方せん、手術記録、看護記録、検査所見記録、エックス線写真、紹介状、退院した患者に係る入院期間中の診療経過の要約及び入院診療計画書		総務課 医療情報部 薬剤部 各診療科	外来カルテ、入院カルテは電子カルテにて中央管理 紙媒体によるものはスキャンにて電子保存。 電子化されているものは電子カルテ管理(1患者1カルテ) エックス線写真は電子カルテにて中央管理(一部フィルムにて各診療科保管) 病院日誌は、紙ベースにて日付順に保存
病院の管理及び運営に関する諸記録	従業者数を明らかにする帳簿	総務課	
	高度の医療の提供の実績	医療サービス課	
	高度の医療技術の開発及び評価の実績	学務・研究課	
	高度の医療の研修の実績	総務課 医療サービス課	
	閲覧実績	総務課	
	紹介患者に対する医療提供の実績	医療サービス課	
	入院患者数、外来患者及び調剤の数を明らかにする帳簿	医療サービス課 薬剤部	
	確規保則の第9条の第2項及び第11条の各号に掲げる体制	専任の医療に係る安全管理を行う者の配置状況	総務課
	専任の院内感染対策を行う者の配置状況		
	医療に係る安全管理を行う部門の設置状況		
	当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況		
	医療に係る安全管理のための指針の整備状況		
	医療に係る安全管理のための委員会の開催状況		
	医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況		
	医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善の方策の状況	医療安全管理部	

			保管場所	分類方法
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則第1条の1号に掲げる体制確保の状況	院内感染のための指針の策定状況	感染制御部	
		院内感染対策のための委員会の開催状況	医療サービス課	
		従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	感染制御部	
		感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善の方策の実施状況	感染制御部	
		医薬品の使用に係る安全な管理のための責任者の配置状況	総務課	
		従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	医療安全管理部 薬剤部	
		医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	医療安全管理部 薬剤部	
		医薬品の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善の方策の実施状況	医療安全管理部 薬剤部	
		医療機器の安全使用のための責任者の配置状況	総務課	
		従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	MEセンター 医療安全管理部	
		医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	MEセンター	
		医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善の方策の実施状況	MEセンター 医療安全管理部	

(注) 「診療に関する諸記録」欄には、個々の記録について記入する必要はなく、全体としての管理方法の概略を記入すること。

(様式第13)

病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び紹介患者に対する医療提供の実績

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法

閲覧責任者氏名	豊島良太（病院長）
閲覧担当者氏名	石井邦彦（総務課長）、田邊鉄太郎（医療サービス課長）
閲覧の求めに応じる場所	閲覧室

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧の実績

前 年 度 の 総 閲 覧 件 数	延	0 件
閲 覧 者 別	医 師	延 0 件
	歯 科 医 師	延 0 件
	国	延 0 件
	地 方 公 共 団 体	延 0 件

○紹介患者に対する医療提供の実績

紹 介 率	8 5. 7 %	算 定 期 間	平成21年 4月 1日～平成22年 3月31日
算 A : 紹 介 患 者 の 数			1 0, 6 7 1 人
出 B : 他の病院又は診療所に紹介した患者の数			8, 5 5 6 人
根 C : 救急用自動車によって搬入された患者の数			1, 9 0 3 人
拠 D : 初 診 の 患 者 の 数			1 6, 0 9 5 人

(注) 1 「紹介率」欄は、A、B、Cの和をBとDの和で除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。

2 A、B、C、Dは、それぞれの延数を記入すること。

(様式第13-2)

規則第1条の11第1項各号及び第9条の23第1項第1号に掲げる体制の確保の状況

① 医療に係る安全管理のための指針の整備状況	有・無
<ul style="list-style-type: none">・ 指針の主な内容：<ul style="list-style-type: none">(1) 安全管理に関する基本的考え方(2) 安全管理のための組織に関する基本的事項(3) 医療安全管理のための医療従事者に対する研修に関する基本方針(4) 医療に係る安全の確保を目的とした改善の方策に関する基本方針(5) 医療事故発生時の対応に関する基本方針(6) 本院における医療従事者と患者様との間の情報の共有に関する基本方針(7) 患者様からの相談への対応に関する基本方針(8) その他医療安全の推進のために必要な基本方針	
② 医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	年12回
<ul style="list-style-type: none">・ 活動の主な内容：<ul style="list-style-type: none">・ 医療に係る安全管理の体制の確保及び推進を図り、医療事故及び医療行為に基づく医事紛争に対する防止策等について審議する。	
(審議事項) <ul style="list-style-type: none">・ 医療に係る安全管理のための指針の策定・整備に関すること。・ 医療に係る安全管理のための教育・研修の企画・立案に関すること。・ 医療に係る安全確保を目的とした改善の方策に関すること。・ 医療事故及び医事紛争を防止するために必要な啓発及び対策に関すること。・ 医療事故等発生時の対応、事実確認並びに医療安全の確保及び医療事故の再発防止に関し、病院長から命を受けたこと。・ その他医療に係る安全管理体制の確保及び推進に関すること。	
③ 医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	年53回
<ul style="list-style-type: none">・ 研修の主な内容：<ul style="list-style-type: none">・ 新採用者研修 リスクマネジメント・ 安全対策の基本 安全管理について・ 病院情報管理システム操作研修・ 出前学習 (RCA) 等・ 静脈注射院内認定看護師養成研修 リスクマネジメントの立場から・ 医療安全への取り組み報告研修会・ 医療機器取り扱い研修会・ 薬剤師G R Mが診る医療安全管理・ 医事紛争：インフォームドコンセントを中心に・ BLS研修会・ DVDを用いた医療安全研修会 等	

④ 医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善の方策の状況

- ・ 医療機関内における事故報告等の整備 (有・無)
- ・ その他の改善の方策の主な内容 :

・ 問題点の把握状況

GRM 2名及び、医療安全担当副師長で、報告書を基に事故の種類、報告者職種、患者への影響度及び発生時間帯等を集計し、医療現場で発生する問題点を把握し、週1回カンファレンスを行い検討している。

また、日々の報告書提出時現場で、現場担当のリスクマネジメント担当者と検証を行い原因・誘因を抽出し対策をこうじている。

・ 問題点の分析状況

GRMが上記問題点の集計結果を調査・分析し改善策を作成する。

・ 分析・改善策（案）作成のための小委員会等の設置

リスクマネジメント専門委員会を設置している。

・ 改善策の立案部門及び決定部門

上記委員会において作成した改善策を検討し、医療事故防止等対策委員会に報告し更に検討して決定する。

⑤ 専任の医療に係る安全管理を行う者の配置状況	有（ 1名）・無
-------------------------	----------

⑥ 専任の院内感染対策を行う者の配置状況	有（ 1名）・無
----------------------	----------

⑦ 医療に係る安全管理を行う部門の設置状況	有・無
-----------------------	-----

- ・ 所属職員： 専任（ 1）名 兼任（ 8）名
- ・ 活動の主な内容：

- ・ 医療事故防止等対策委員会の運営並びに記録等の作成及び保管に関すること。
- ・ 医療事故に関する診療録、看護記録等への記載が正確かつ十分なされていることの確認を行うとともに必要な指導を行うこと。
- ・ 患者家族への説明など事故発生時の対応について確認を行うとともに必要な指導を行うこと。
- ・ 医療事故の原因究明が適切に実施されていることを確認するとともに必要な指導を行うこと。
- ・ 医療安全に係る連絡調整に関すること。
- ・ その他医療安全対策の推進に関すること。

⑧ 当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況	有・無
--------------------------------------	-----

(様式第 13-2)

院内感染対策のための体制の確保に係る措置

① 院内感染対策のための指針の策定状況	有・無
<ul style="list-style-type: none">・ 指針の主な内容：<ol style="list-style-type: none">1. 院内感染対策に関する基本的考え方2. 感染管理組織に関する基本的事項3. 院内感染対策のための職員研修に関する基本方針4. 感染症の発生状況の報告に関する基本方針5. 院内感染発生時の対応に関する基本方針6. 患者等に対する「病院感染対策のためのマニュアル」の閲覧に関する基本方針7. 院内感染対策推進のために必要な基本方針	
② 院内感染対策のための委員会の開催状況	年 12 回
<ul style="list-style-type: none">・ 活動の主な内容：<p>以下の事項について審議する</p><ol style="list-style-type: none">1. 感染予防の対策に関すること2. 感染予防対策実施の監視及び指導に関すること3. 感染予防に係る情報の収集に関すること4. 感染の発生原因及び感染経路の調査に関すること5. その他感染予防に関すること	
③ 従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	年 26 回
<ul style="list-style-type: none">・ 研修の主な内容：<ul style="list-style-type: none">・ 抗菌薬耐性菌感染症の診療上の留意点と感染対策・ 周術期感染対策予防・ 日常診療でよく遭遇する感染症と最新の感染対策・ 新型インフルエンザ講習会・ I C U I における手指衛生改善への取り組み 等	
④ 感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善の方策の状況	
<ul style="list-style-type: none">・ 病院における発生状況の報告等の整備 (有・無)・ その他の改善の方策の主な内容：<ul style="list-style-type: none">・ 感染症診療カンファレンスによる抗菌薬耐性菌検出患者・血液培養陽性患者・M R S A 感染症治療薬投与患者などの診断・治療・感染対策の検討・ 病棟ラウンドによる感染対策実施状況確認と現場指導・ サーベイランスによる感染症情報の把握とアウトブレイクへの対応	

(様式第13-2)

医薬品に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医薬品の使用に係る安全な管理のための責任者の配置状況	有・無
② 従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	年23回
・ 研修の主な内容 :	
・ 医療事故防止のための講演会 (全職員対象) 薬剤師G R Mが診る医薬品安全管理 ・ 医療安全への取り組み報告研修会 (全職員対象) 一包化 (錠剤・カプセル分包) 調剤業務におけるリスクマネジメント レジメン登録と運用について 医薬品血管外漏出に対する取り組み ・ 静脈注射院内認定看護師研修会 (計2回開催) ・ D V D研修 ・ 研修医に対するプレローテーション (処方および注射オーダー, 注射薬調製) ・ 抗がん剤調製の基本手技研修会 (医師・看護師対象) (計6回開催) ・ 出前研修 (医師・看護師対象, 部署単位) 医療事故防止のために知っておきたい薬～ワーファリン～ (計4回開催) 経口血糖降下薬について ペーキンソン病の薬物治療 I C U薬剤師の役割 点眼薬の基礎知識 ・ 簡易懸濁法研修会	
③ 医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	
・ 手順書の作成 (有・無) ・ 業務の主な内容 :	
・ 医薬品の採用・購入に関する事項 ・ 医薬品の管理に関する事項 (麻薬等の管理方法等) ・ 患者の持参薬歴情報等の収集方法, 処方せんの記載方法 ・ 患者に対する与薬や服薬指導に関する事項 ・ 医薬品の安全使用に係る情報の取り扱いに関する事項 ・ 他施設 (病院等, 薬局等) との連携に関する事項	

④ 医薬品の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況

- ・ 医薬品に係る情報の収集の整備 (審・無)
- ・ その他の改善の方策の主な内容 :

(情報収集の方法)

- ・ 医療安全管理部および医薬安全に係る委員会と連携し、院内で発生するインシデント等の情報収集
- ・ 病院で発生する副作用・感染症情報の把握
- ・ 厚労省、医薬品医療機器総合機構、製薬企業からの情報提供（口頭、インターネット、書面等）

(情報の周知方法)

- ・ 緊急性、重要性、対象により、以下の方法等による周知を図る
- ・ 新採用者または全職員を対象に開催する研修会
- ・ 書面や医療情報システム掲示板を利用した情報提供
- ・ 医師等の個人に直接情報提供

(様式第 13-2)

医療機器に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医療機器の安全使用のための責任者の配置状況	有・無
② 従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	年 5 2回
・ 研修の主な内容： 輸液ポンプ・シリンジポンプ、モニタ、除細動器、アンビュ、人工呼吸器、保育器、透析濾過装置、血液浄化装置、人工心肺装置、P C P S、I A B P、高気圧酸素治療装置	
③ 医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	
・ 計画の策定 (有・無) ・ 保守点検の主な内容： 点検の対象機器及び方法を定めセンターでの定期点検、現場定期点検、使用前点検、使用中点検、使用後点検	
④ 医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善の方策の実施状況	
・ 医療機器に係る情報の収集の整備 (有・無) ・ その他の改善の方策の主な内容： (情報収集の方法) 医療機器の添付文書、取扱説明書の安全使用・保守点検に関する文書を整理し管理する。また、院内で発生する医療機器に関する不都合情報はすべてMEセンターに報告してもらい、製造販売会社から適切な対処方法に関して情報提供を求め、医療安全管理部、リスクマネジメント専門委員会と協議協力して、院内へ周知する。また、これら不都合情報のうち適正かつ安全な医療遂行に支障を来すような内容については病院長に報告し、厚生労働省への報告を検討する。 (情報の周知方法) 医療機器の不都合情報・安全情報等は、当該医療機器に直接携わる関係者には口頭、文書で通知し院内には「MEセンター瓦版」、「リスクマネジメント便り」、あるいは医療情報システムを利用して情報提供を行う。	